

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成20年6月2日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・暫定税率の一時的な失効による変動もあるが、おおね横ばいとなっている。
大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を上回った。(3月)
用途別着工建築物工事金額は前年を下回ったが、乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、公共工事請負金額は前年を上回った。(4月)

産業面・・・おおむね横ばい圏内の動きとなっている。
鉱工業生産指数は季節調整済指数が前月を下回り、原指数も前年を下回った。(3月)

雇用面・・・有効求人倍率は厳しい状況となっている。
現金給与総額は前年を下回ったが、所定外労働時間は前年を上回った。(3月)
求人倍率は、新規は前月を上回り、有効は前月を下回った。新規求人数は前年を下回った。(4月)

需要面の動き

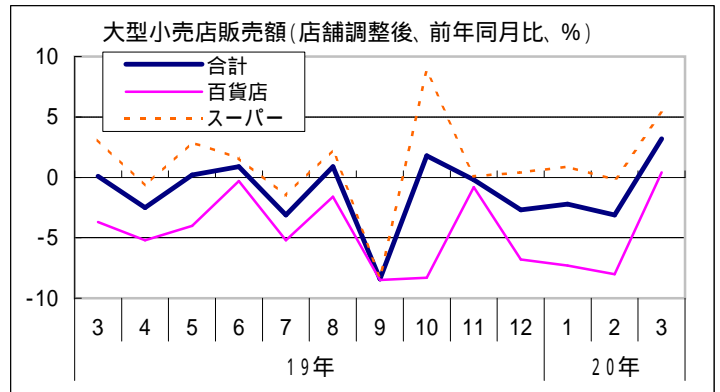
大型小売店販売額(3月)

全店舗の販売額は、54億2,229万円(前年同月比3.2%増)と5か月ぶりに前年を上回り、店舗調整後でも5か月ぶりに前年を上回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	542,229	3.2	(3.2)
百貨店	220,612	0.4	(0.4)
スーパー	321,617	5.3	(5.3)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(3月)

36億9,330万円(前年同月比2.8%増)と3か月ぶりに前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(4月)

1,555台(前年同月比3.9%増)と7か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、普通車の増加(前年同月比24.8%増)が大きかった。ただし、年累計(1月～4月)では前年を下回っている。

新設住宅着工戸数(4月)

309戸(前年同月比19.3%増)と2か月続いて前年を上回った。増加の内訳では、貸家の増加(前年同月比74.4%増)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(4月)

7億8,510万円(前年同月比55.0%減)と3か月ぶりに前年を下回った。用途別では、その他のサービス業用(前年同月比76.9%減)等が前年を下回った。

公共工事請負金額(4月)

80億7,300万円(前年同月比28.1%増)と2か月続いて前年を上回った。発注者別の内訳では、独立行政法人等の増(前年同月比229.6%増)が大きな割合を占めた。

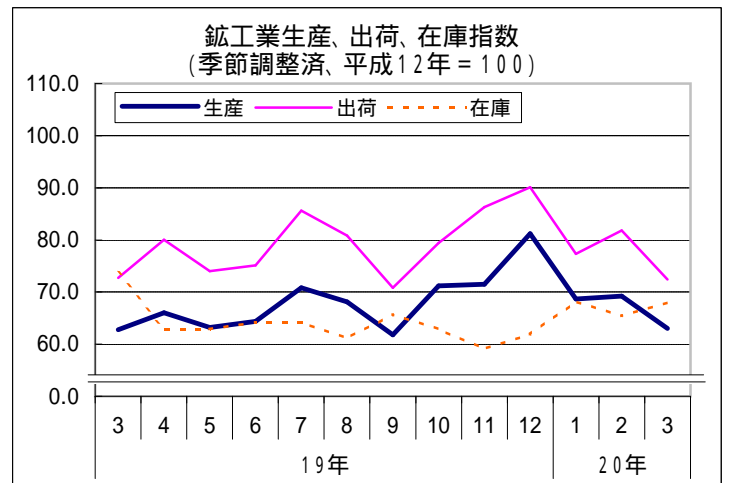
産業面の動き

鉱工業指数(3月)

生産指数(季節調整済)は63.0(前月比9.0%低下)と2か月ぶりに低下し、原指数は67.9(前年同月比1.5%低下)と4か月ぶりに低下した。

内訳を前月比で見ると、電気機械が通信機械器具等の生産減により10.7%低下、食料品・たばこが0.4%低下、一般機械が50.2%低下、繊維が11.3%上昇した。

在庫指数(季節調整済)は68.0と前月比4.0%上昇した。



大口需要電力実績(3月)

142,732千kwh(前年同月比1.3%増)と7か月続いて前年を上回り、鉱工業は機械等が増加し0.7%増加した。

青果物卸売量(4月、鳥取市場)

野菜が1,498t(前年同月比9.4%増)と2か月ぶりに前年を上回り、果実は707t(前年同月比7.9%増)と6か月続いて前年を上回った。

漁獲量(4月、境港)

9,681t(前年同月比16.3%減)と3か月ぶりに前年を下回った。

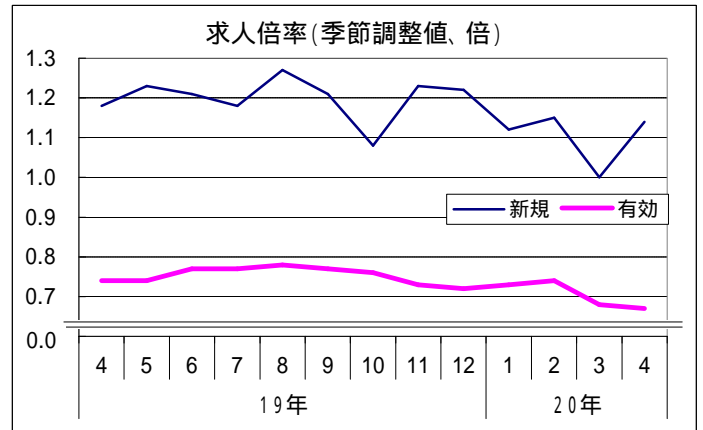
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(4月)

1.14倍(前月差0.14ポイント上昇、前年同月差0.04ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、3,635人(前年同月比5.0%減)と7か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(4月)

0.67倍(前月差0.01ポイント低下、前年同月差0.07ポイント低下)と24か月続いて0.8倍を割っている。



現金給与総額(3月)

253,908円(前年同月比1.0%減)と3か月ぶりに前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、252,641円(前年同月比1.1%増)で2か月続いて前年を上回った。

所定外労働時間(3月)

10.1時間(前年同月比4.1%増)と2か月続いて前年を上回った。主力の製造業は0.8%増となった。産業別の前年同月比では、建設業(前年同月比50.0%増)等で前年を上回り、金融保険業(前年同月比24.8%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(3月末)

預金残高は、1兆8,727億円(前年同月比0.8%増)と19か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,495億円(前年同月比1.0%減)と19か月続いて前年を下回った。

参考

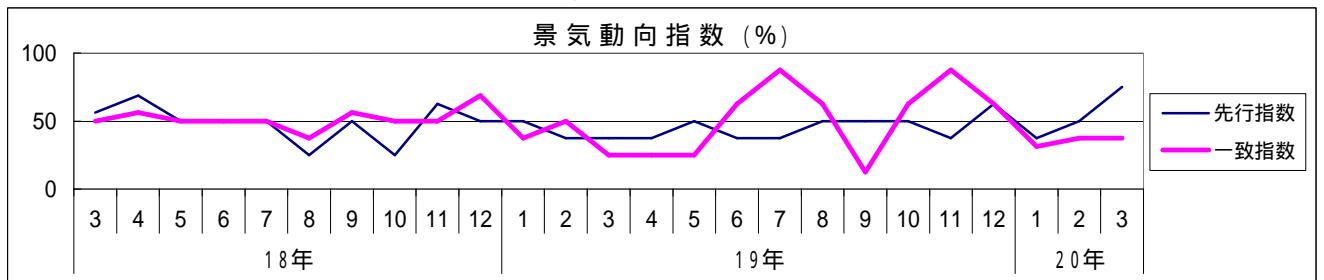
鳥取県景気動向指数(3月)

先行指数75.0%、一致指数37.5%、遅行指数100.0%となった。

先行指数は3か月ぶりに50%を上回った。

一致指数は3か月続いて50%を下回った。

遅行指数は3か月続いて50%を上回った。



企業倒産(4月)

件数は8件(前年同月比300.0%増)で2か月ぶりに前年を上回り、負債総額は17億2,000万円(前年同月比57.3%減)で7か月ぶりに前年を下回った。

消費者物価指数(4月、鳥取市、総合、平成17年=100)

100.2となり、前月比(0.1%上昇)は2か月続いて上昇し、前年同月比(1.5%上昇)は6か月続いて上昇した。

鳥取県の推計人口(5月1日現在)

596,017人で、前月と比べて173人(0.03%)増加し、前年同月と比べて4,690人(0.78%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成20年5月調査)

平成20年4~6月期は、平成20年1~3月期に比べると景気、経常利益は不調であり、売上高はやや不調である。

平成20年7~9月期は、平成20年4~6月期に比べると景気、経常利益は不調となり、売上高はやや好調となる見通しとなっている。